

平成22年度

環境報告書

クボタ精機株式会社

クボタ精機株式会社

INDEX

1	工場概要	1
2	事業概要	1
3	工場変遷	1
4	環境方針	3
5	環境パフォーマンス	5
	産業廃棄物の管理	5
	省エネルギー活動	6
	化学物質の管理	8
6	目的・目標の達成状況	10
7	環境関連法との対応状況	11
8	環境コミュニケーション	13
9	環境リスクマネジメント	14
10	環境マネジメントフロー	16

クボタ精機株式会社

1

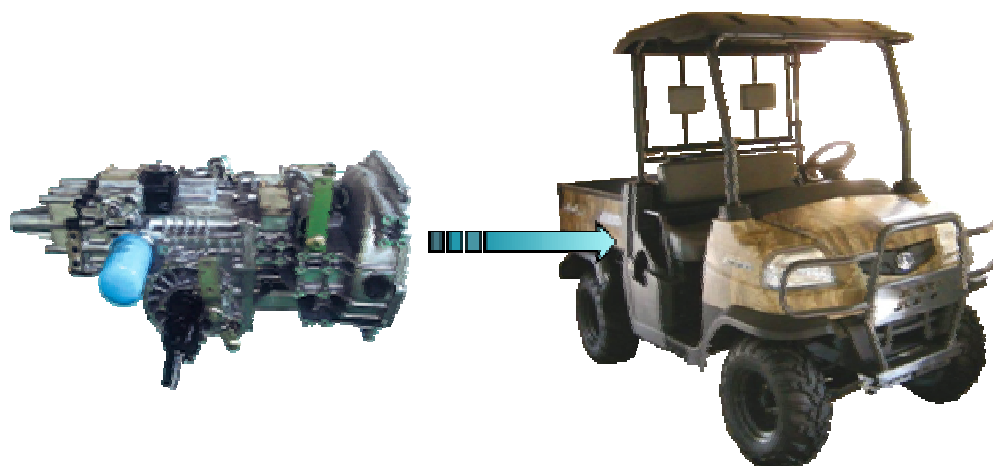
工場概要

住所	〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通 4 丁目 15 番 5 号
従業員数	299名
敷地面積	本工場 16248㎡(工業専用地域) 東工場 6717㎡(準工業地域)

2

事業概要

事業内容	農業用機械部品(油圧機器、その他精密機械部品)の設計及び製造と販売
主要製品	RTV900 搭載用 HST 一体型ミッション、コンバイン・トラクター・田植機・建機用コントロールバルブ、トラクター・田植機・コンバイン・モア用ギアポンプ、ブルトラ用油圧シリンダー本体、油圧モーター、トランスミッション 他



3

工場変遷

昭和 22 年(1947)	旭産業(株)設立
昭和 48 年(1973)	旭産業(株)よりクボタ精機(株)に社名変更
昭和 49 年(1974)	(株)クボタ宇都宮、筑波工場向け部品供給のため、子会社関東クボタ精機(株)を設立
平成 12 年(2000)	事業構造改革元年と位置付け、HST*1 事業を立ち上げた。
平成 13 年(2001)	建設機械用油圧モータ、2002 年度は KMA 社*2 向けバルブ事業を受注し、2003 年度トランスミッション、2004 年度はポンプ事業に進出し、油圧機器専業メーカーとして、事業構造改革、企業体質強化に全社をあげて強力で推進している。
平成 13 年(2001)	資本金を 3 億円から 4.8 億円に増資した。
平成 18 年(2006)	売上げ 200 億円を突破。

クボタ精機株式会社

- 平成 18 年(2006) 7月 ISO 取得キックオフ宣言
- 平成 19 年(2007) I S O 9 0 0 1 ・ I S O 1 4 0 0 1 W 認 証 取 得 (L R Q A JAPAN)
- 平成 20 年(2008) 大阪労働基準連合会より**安全部門優良賞の表彰**を受ける
大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストにより**自家用部門銅賞を受賞**
7月24日 **連続休業災害0件として5,000日を達成**
- 平成 21 年(2009) 小型・中型コンバイン用 HST 一体型トランスミッション生産開始
- 平成 22 年(2010) 1月・ISO9001・ISO14001 移行・更新 (LRQA JAPAN)

*1: H S T = 静油圧無段変速機 (Hydro Static Tansmission)

*2: K M A = Kubota Manufacturing of America corporation

クボタ精機株式会社

4 環境方針

くぼた

環 境 理 念

クボタ精機株式会社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、各種油圧製品の開発及び製造の各段階における環境との関わりを評価し、地域社会や地球環境に配慮した活動に取り込むことを、企業理念として実行して行きます。

環 境 方 針

- 1 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産・サービスの各段階において環境負荷の低減及び汚染の予防を図り、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築、実施し、その継続的改善に努めます。
- 2 当社の環境側面に関係して適用可能な法令、条例及び同意したその他の要求事項について遵守し、管理基準を設定して、維持することに努めます。
- 3 本方針を実践するための具体的な目的、目標及び施策を明確にするとともに、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うよう努めます。
- 4 環境管理活動の重要性を全従業員に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
- 5 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めるとともに、本方針は、要求に応じ一般にも公開いたします。

2007年 7月 1日

代表取締役 社長 笹井 重夫

クボタ精機株式会社

クボタ精機株式会社

ISO14001 認証取得活動状況

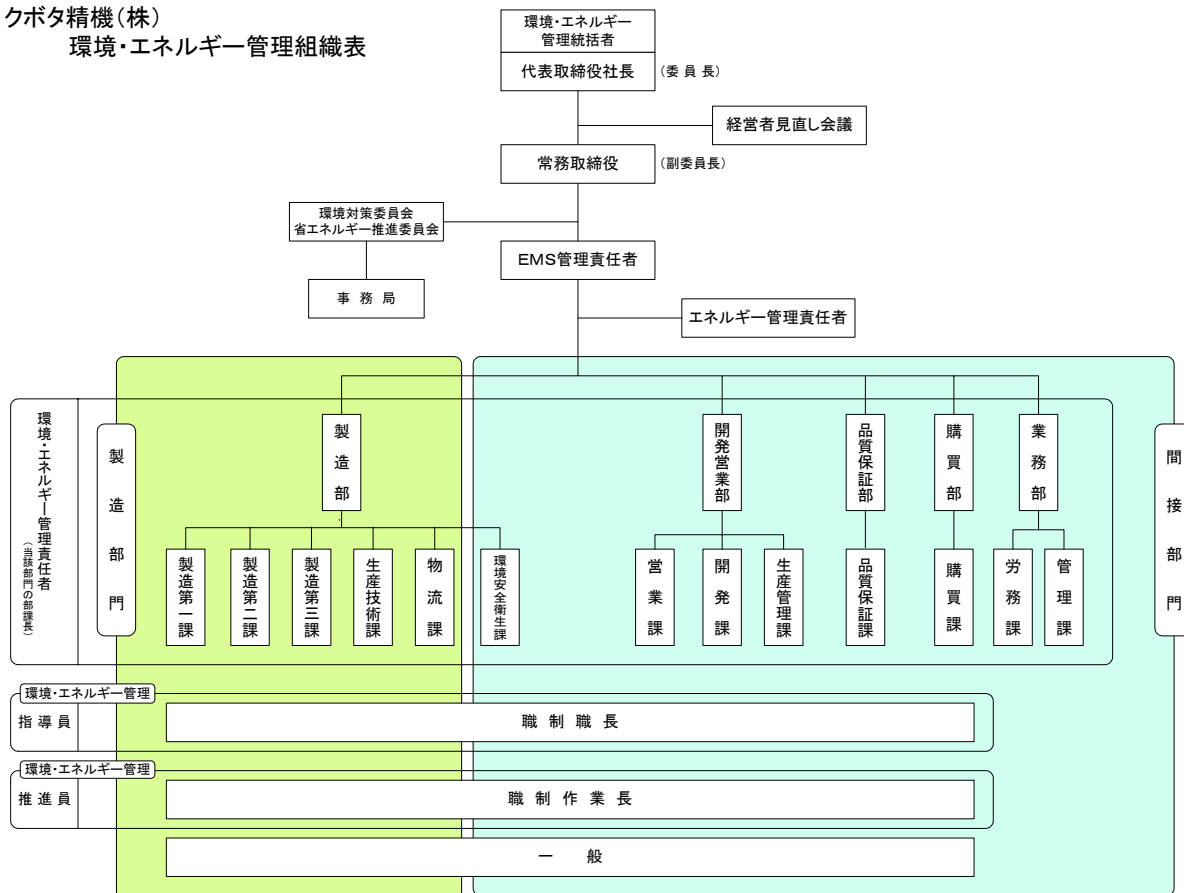
平成18年 7月 3日	小笠原社長によるキックオフ宣言
平成18年 7月14日～15日	内部環境監査員教育受講
平成18年 7月～12月	環境マニュアル等書類整備
平成19年 1月12日～13日	予備審査(ロイド社)
平成19年 2月13日～14日	ステージ1審査(ロイド社)
平成19年 3月14日～16日	ステージ2審査(ロイド社)
平成19年 3月20日	認証取得(YKA 4003899)
ISO14001:2004 / JIS Q14001:2004	
平成19年10月 4日～5日	第1回 定期審査
平成20年 4月 8日	第2回 定期審査
平成20年10月 7日～8日	第3回 定期審査
平成21年 4月17日	第4回 定期審査
平成21年10月15日～16日	第5回 定期審査
平成22年 1月25日～1月27日	第1回 更新審査



ISO14001 推進体制

クボタ精機(株)

環境・エネルギー管理組織表



クボタ精機株式会社

5

環境パフォーマンス

産業廃棄物の管理

1. 産業廃棄物の管理方法

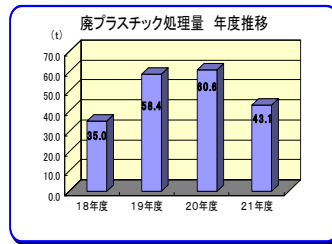
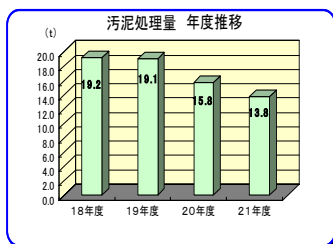
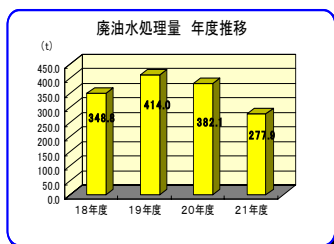
(株)クボタの環境情報管理システム (KEDES) により、廃棄物管理を確実にする。



2. 産業廃棄物の処分量推移

廃棄物名	単位	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)
雑介類(ごみ)	t	54	0	0	0
廃油水	t	348.8	414.0	382.07	277.87
汚泥	t	19.2	19.13	15.82	13.75
建設廃材	t	0	0	0	0
プラスチック類	t	35	58.43	60.63	43.12
ガラス類	t	0	2.2	0.0	0.0
処分量計	t	457.0	493.8	458.52	334.74
粗付金額(百万円)		5,878	5,604	4,665	4,062
処分量/粗付金額	t/百万	0.078	0.088	0.098	0.082
前年度比(原単位)	%	91.8	112.8	111.4	83.7

クボタ精機株式会社



省エネルギー活動

【省エネルギー、温室効果ガスの削減】

平成17年度にエネルギー使用量が年間3,000KI以上の工場として、エネルギー管理指定工場第1種の指定を受け、省エネルギーに対し削減が義務づけられ、中期計画(3ヶ年)を毎年前年比1%(原単位)の削減計画を提出し推進している。

- ・スイッチ箇所には節電のフレートを貼付。
- ・休憩時間完全消灯の実施を継続。
- ・室内温度の適正管理。(夏 28 ・ 冬 20)
- ・エアコンフィルターの清掃管理を徹底。
- ・コンプレッサーの点検管理を徹底。(始業前)
- ・吐出圧、使用端圧の低減。
- ・水銀灯 Hf 蛍光灯へ(80KW/h低減に挑戦)

等の活動をエネルギー管理表で毎月のエネルギー使用量を管理し、原油換算/粗付金額の前年比が1%削減されているかどうかチェックしている。

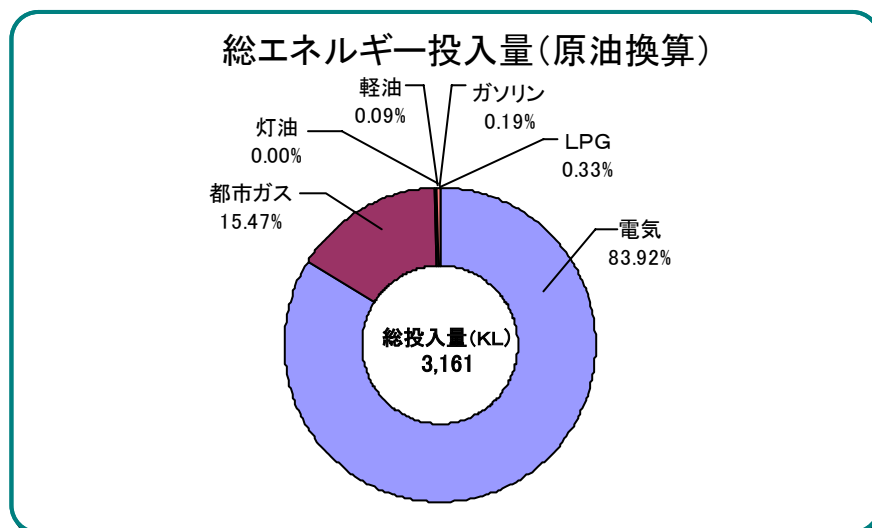
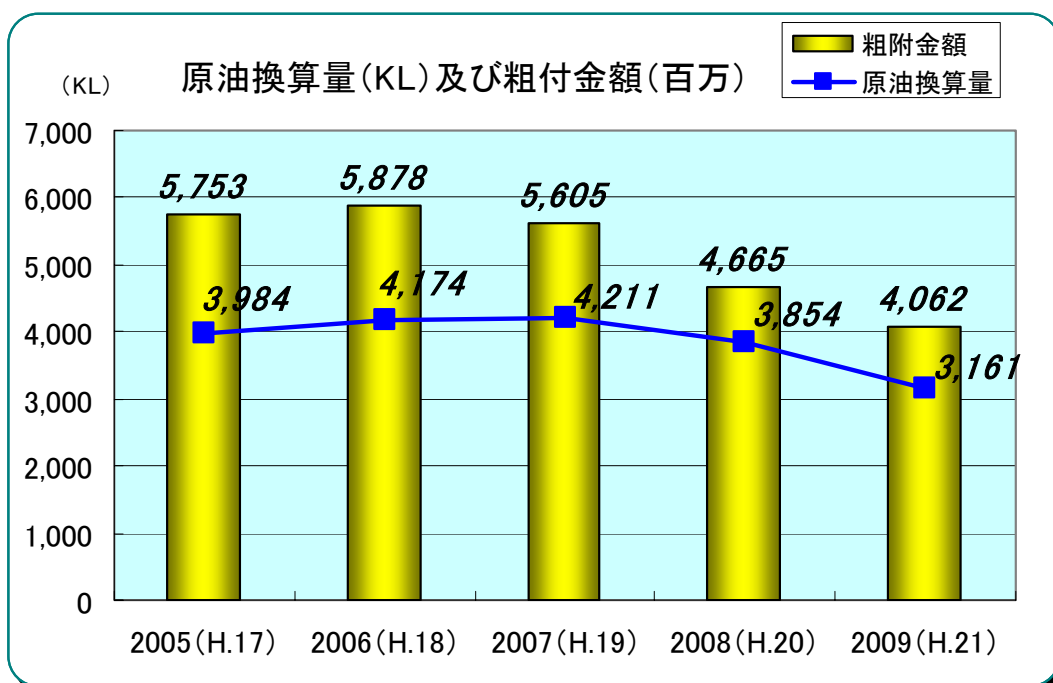
1) エネルギー管理表

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均									
18年度	841,738	37.2	508,290	311,440	11,852,640	63,819	31.4	43,779	20,039	1,070,428	11,588	201,903	588,624	899,219	35.9	578,394	322,816	12,382,104	47,212	32.7	34,203	53,105	891,930	10,130	183,782	626,720
19年度	5,430,610	36.8	3,412,146	1,988,484	315,631	12,728,890	39.5	263,271	128,632	6,258,212	62,788	1,034,136	3,758,063	11,473,848	37.2	7,211,033	4,266,757	14,685,945	740,817	32.2	535,183	285,400	12,830,988	123,774	2,701,447	7,668,878
20年度	780,170	34.8	498,777	207,883	10,278,342	44,632	25.7	33,162	11,470	772,800	10,485	172,782	542,403	778,229	35.2	463,463	251,757	9,138,446	41,676	27.2	30,329	11,336	702,201	8,631	181,408	502,679
21年度	894,120	34.2	528,111	276,089	9,741,145	44,939	27.3	32,648	12,200	726,388	9,535	153,976	571,095	898,988	35.1	545,830	303,060	10,528,888	46,917	24.3	35,538	11,406	776,479	10,722	172,913	582,088
合計	4,772,528	34.5	3,078,987	1,685,433	60,071,861	271,273	28.3	199,953	71,471	4,526,911	60,670	1,871,471	3,238,739	10,917,886	35.4	545,581	312,299	9,778,275	44,380	27.9	32,046	12,034	718,654	8,699	144,806	588,206
18年度	826,952	35.5	528,832	297,117	9,647,022	46,205	28.6	33,062	12,244	706,039	9,021	144,984	521,906	871,986	35.7	566,670	311,290	10,008,433	49,142	27.4	35,677	13,465	738,902	9,680	182,305	606,027
19年度	789,778	34.7	515,720	274,080	9,328,697	45,432	28.6	32,413	12,985	697,805	11,188	167,178	558,245	847,476	35.6	546,818	300,852	9,685,906	52,215	27.9	37,719	14,506	736,336	11,453	171,025	568,700
20年度	852,010	35.6	613,894	328,815	10,788,120	46,289	27.9	33,381	12,917	688,425	9,569	182,922	656,044	892,010	35.6	3,321,426	1,834,484	10,448,430	283,543	28.0	304,303	79,240	4,268,302	50,430	820,382	3,685,219
合計	8,892,486	35.2	6,405,923	3,482,857	119,528,291	554,816	27.1	434,258	180,657	8,725,853	120,083	1,821,071	6,524,958													

クボタ精機株式会社

2) エネルギー使用量の推移

エネルギー名		単位	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)
エネルギー名	電気	KW	13,589,115	13,610,221	12,392,161	10,558,486
	都市ガス	m ³	663,311	667,716	623,050	421,103
	ガソリン	L	7,700	7,161	7,259	6,878
	軽油	L	10,036	8,305	7,069	2,933
	灯油	L	96	18	18	0
	LPG	m ³	3,728	4,123	4,336	3,990
原単位	原油換算	KL	4,174	4,211	3,854	3,161
	粗付金額	百万円	5,878	5,605	4,665	4,062
	原油換算／粗付金額	KI/百万	0.710	0.751	0.826	0.778
	対前年度比	%	102.6	105.8	110.0	94.2



クボタ精機株式会社

化学物質の管理

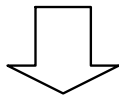
1. 化学物質の管理方法

1) 原材料・薬品等使用許可登録台帳

HT18年度
 品番: 2008-10-17
 名称: 202-2002-1 油類
 記号番号: ※ 新採用

原材料・薬品等使用許可登録台帳

製品No.	品番	品名	種類	購入先	購入単位	単価	2009年度					2010年度						
							1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
PR001	M80B	クボタ純正オイル	油性	阪堺石油	200	32400												
PR002	DTE 24	工業用油	油性	阪堺石油	200	4900												
PR003	SHT 32	ニューレックス	油性	阪堺石油	200	48000												
PR004	0110	エクソール	油性	阪堺石油	200	4200												



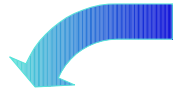
2) 油類購入管理台帳

HT18年度
油類購入管理台帳
 (新規採用又は変更する場合、化学物質使用申請書で承認を得ること。)

注) 購入金額集計は契約時見積金額及びドラムでの購入金額の為、変動有

製品No.	品番	品名	種類	購入先	購入単位	単価	4月度		5月度		6月度		7月度		8月度	
							購入量	購入金額	購入量	購入金額	購入量	購入金額	購入量	購入金額		
PR001	スーパーUDT	クボタ純正オイル	油性	阪堺石油	200	32400	14400	2332800	13400	2170800	13600	2203200	10000	1620000	13000	2106000
PR002	M80B	クボタ純正オイル	油性	阪堺石油	200	31000	400	62000	400	62000	400	62000	400	62000	400	62000
PR003	DTE 24	工業用油	油性	阪堺石油	200	4900	160	39200	120	29400	240	58800	80	19600		
PR004	SHT 32	ニューレックス	油性	阪堺石油	200	48000										
PR005	0110	エクソール	油性	阪堺石油	200	4200	1000	210000	340	71400	1200	252000	1400	294000	1200	252000

2. 化学物質の年間使用量 (K g)



各物質毎に1トンを超えると届出
 (発がん物質は0.5トン)

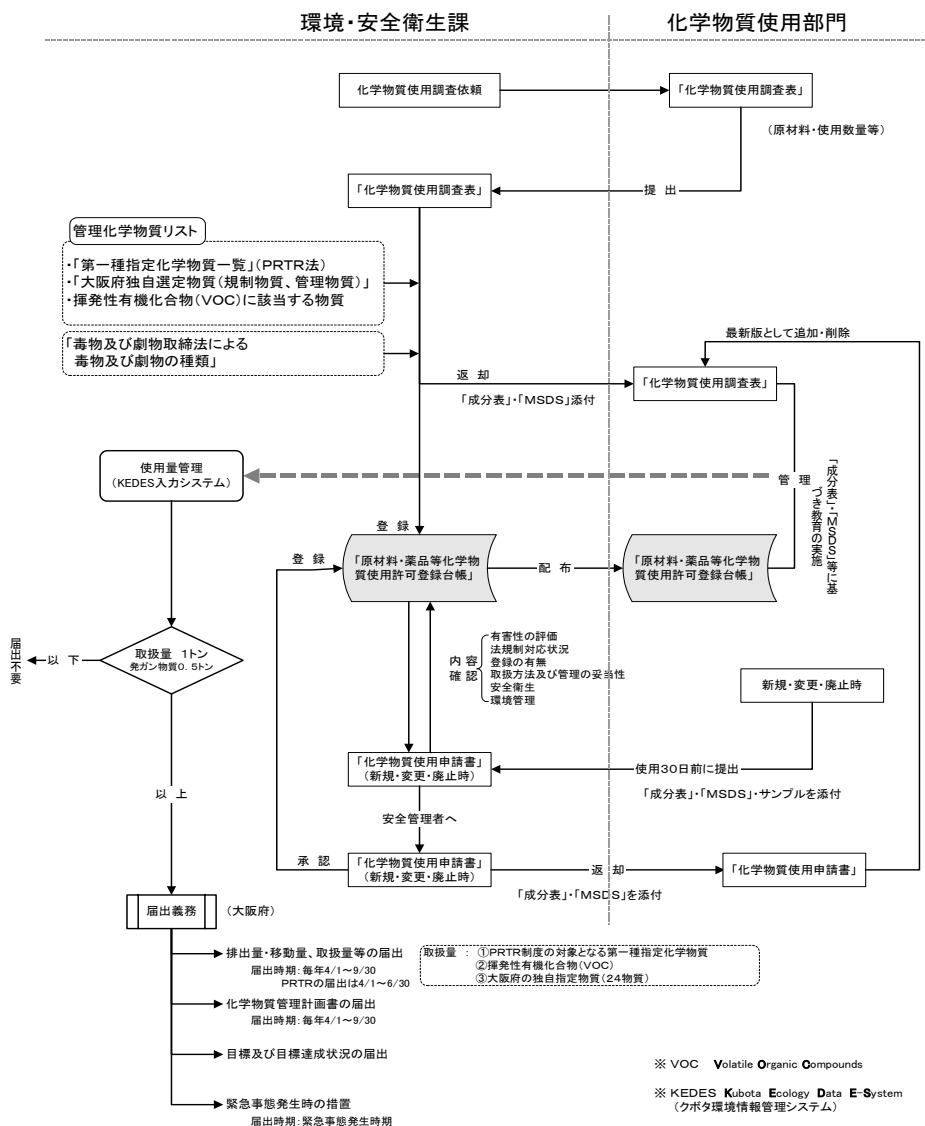
【2009年度 化学物質管理表】

第一種指定化学物質名	物質と第一種指定化学物質としての取扱い量 (kg/年)	P R T R + 大阪府条例 37物質 (kg/年)	大阪府条例 VOC規制 (kg/年)
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	0.0	0.0	
ほう素	147.1	147.1	
2-アミノエタノール	74.2	74.2	
トルエン	675.0	675.0	675.0
スチレン	142.4	142.4	142.4
クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	
液状エポキシ樹脂	715.6	715.6	
キシレン	642.2	642.2	642.2
エチルベンゼン	214.5	214.5	214.5
1,3,5-トリメチルベンゼン	0.0	0.0	
フタル酸ビス-2-エチルヘキシル	0.0	0.0	
HCFC-225	4.4	4.4	
二硫化モリブデン	1.5	1.5	
銅水溶性塩	0.0	0.0	
ピクリン酸	0.0	0.0	
フタル酸	0.0	0.0	
n-ヘプタン			16.1
エタノール			3,395.7
ブタン			2,069.8
2-シアノアクリル酸エチル			6.9
ナフタリン			8.0
ヘキサシ			0.8
酢酸エチル			1.5
ノナン			0.0
メチルエチルケトン			1.4
	3,386.6	7,180.1	18,949.6

3. H21年度取扱量届出

- ・第1種化学物質排出量等届出書
 - ・管理計画書
 - ・化学物質管理目標決定及び達成状況届出書 (VOC・トリタノールアミン)
- } 堺市に届出提出

【化学物質管理フロー】



▶▶ 天然資源枯渇の低減

- ・紙の消費量を前年比5%削減に対し4.6%削減ができた。
(ミスプリント・ミスコピーの再利用、イントラネットを活用したペーパーレス化)
- ・グリーン購入法に基づく購入の推進
再生紙導入率 100.0%
(再生紙の導入は、定着。)
グリーン調達率 90.2% グリーン調達ガイドラインによる

クボタ精機株式会社



目的・目標の達成状況

(2008/04/01～2010/03/31)

	単位	目標	実績	達成率	評価	備考	前年比
エネルギー消費量(原単位)の低減 (前年比 1% 低減)	KI/億円	95.59	77.84	122.8%		目標値は前年比△1%	94.2%
産業廃棄物の低減 (前年比 0.2% 低減)	千円	10,120	7,632	132.6%		目標値は前年比△5%	57.8%
	t	458.2	334.7	103.38%			72.9%
紙の納入量を低減 (前年比 5% 低減)	kg	3,924.3	3,935.3	99.7%		目標値は前年比△5%	95.3%
社用車の燃料使用量を低減 (前年比 5% 低減)	リットル	6,896	6,878	100.3		目標値は前年比△5%	94.8%

自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 : 目標概ね達成 : 目標未達成



環境関連法との対応状況

▶▶ 大気管理状況

当社として、大気汚染の特定管理施設は無く、大気汚染の管理の必要はありませんが、当社の社用車ステッカーを貼付ポスターを掲示しアイドリングストップ運度を展開しています。また、当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等については、協力会社へ「環境保全活動への協力依頼」をし、アイドリングストップ運度を展開しています。

H21.1.1 から、自動車NOx・PM総量削減計画に伴い大阪府流入車規制が施行。当社車輜をはじめ当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等について、適合車輜のシールにより、管理の徹底を継続実施。

▶▶ 水質管理状況

排水処理施設としての特定管理施設はありませんが、工場内から排水する所に油水分離槽を設置し、油分をシャットアウトすると共に、ノルマルヘキサン及びPh測定管理を徹底し、排水管理をしています。

▶▶ 騒音・振動管理状況

今年度、12月に集塵機を堺市騒音条例の届出施設として追加申請。

振動発生施設は無く、コンプレッサー・マシニングセンタ・NC旋盤等の騒音発生施設からの騒音に対し、平成21年9月に、敷地境界線7ヶ所で昼夜の測定を実施した結果、規制基準値をクリアしていました。

▶▶ 有害化学物質

当社で使用している化学物質の原材料・使用数量を化学物質使用量調査により調査し、PRT法及び毒劇法による指定化学物質を確認して成分表及びMSDS(製品安全データ)を入手し、台帳で管理しています。

大阪府条例により、揮発性有機化合物(VOC)に該当する主な物質、大阪府の独自指定物質(24物質)大阪府化学物質適正管理指針による管理物質等を『化学物質管理台帳』により管理し、「第1種化学物質排出量等届出書」・「管理計画書」・「化学物質管理目標決定及び達成状況届出書(VOC・トリタールアミン)」等の届出を堺市に提出し、使用量の削減に向けて取り組んでいます。

【PCB管理】

コンデンサー(3基)をH20年12月に日本通運(株)の厳重な梱包・輸送により、日本環境安全事業(株)により適正に処分を完了しました。

また、微量PCBの取扱について指導があり、使用中の変圧器及びコンデンサーのメーカーに確認した結果、事務所用動力変圧器に2.1mg/kgの含有が確認され、注意書き等を明示し、管理しています。

【微量PCB混入変圧器設置状況】



【製品の型式等】

1. 製造者名：(株)ダイヘン
2. 定格又は容量：3 75 KVA
3. 製造番号：P 5 9 8 3 0 3 1
4. 微量PCB混入量：2.1 [mg/kg]

▶▶ 環境に関する苦情・要望について

環境に関連する苦情・要望に関しては、発生しておりません。

▶▶ 危険物取扱について

現在、貯蔵量の関係から工場棟毎に、少量危険物取扱所として消防署に申請しておりますが、洗浄用のスプレー缶(第4類 第1石)を工場内で使用している場所が見受けられます。そのため、貯蔵量を超えないよう工場棟の建屋外に『少量未満危険物保管庫』を設置し、違法のないように油量を管理しています。



クボタ精機株式会社

環境コミュニケーション

▶▶ 地域の皆様との交流

- 1) 大阪木材工場団地協同組合 役員会(3回)
- 2) 美原防災協会 防災研修会 参加(10/29)
- 3) 大阪木材工場団地協同組合 消防訓練参加(12/3)
- 4) 美原防災協会 防災研修会 参加(2/1)
- 5) 美原危険物部会 役員会 参加(3/17)

▶▶ 地域美化活動

・クボタeプロジェクトの参加

2009年8月3日に社会貢献活動の一環として、(株)クボタが農業用水をきれいに保つよう、全国の河川清掃ボランティア活動が実施されました。

当社も社会貢献活動の一環として、石川(大阪府富田林市)の河川清掃に参加。



・全社マナーアップ作戦として工場周辺の清掃活動 (冬季を除く年7回実施)

	実施日	実施職場	参加人数
1	4月22日	業務部、営業部、購買部	44
2	5月27日	製造1課(11-1~11-5)	24
3	6月24日	製造1課(10-2~10-4)	37
4	7月22日	製造2課(11-6、10-6、14-1、16-1)	32
5	9月2日	業務部、品質保証部、生産技術課	29
6	9月23日	製造3課(12-5、12-6、12-8、12-9)トナミ	38
7	10月15日	製造2課(12-1、12-2、12-3、12-4)	20



クボタ精機株式会社



環境リスクマネジメント

緊急事態対応手順（火災）に従い実際に訓練をすることで、この手順の検証をすると共に問題点の抽出を行ない、設備点検や必要なメンテナンスを確実に実施しています。

▶▶ 火災の発生を想定し、避難及び初期消火活動の部分訓練を実施

万一の危険物事故の発生を想定し、被害を最小限に抑えるための対応手順を定め定期的に対応訓練を実施しています。

場内で新入社員を対象に、危険物事故の発生を想定し、水消火器を用いて消火器の実射訓練を実施（09/12/4訓練を実施）



▶▶ 火災が発生したのを想定して通報・避難及び消火訓練

09/02/26に通報・避難・消火訓練（消防総合訓練）

火災が発生したと想定し、
消防署への通報 ~ 初期消火活動 ~ 避難訓練の総合訓練を実施。



エンジンポンプ車による作動テスト



エンジンポンプ車による放水テスト

クボタ精機株式会社

【工場内での消火訓練状況】



消火栓及び消火ホースを使用した消火訓練



消火器による初期消火訓練状況

【避難状況】



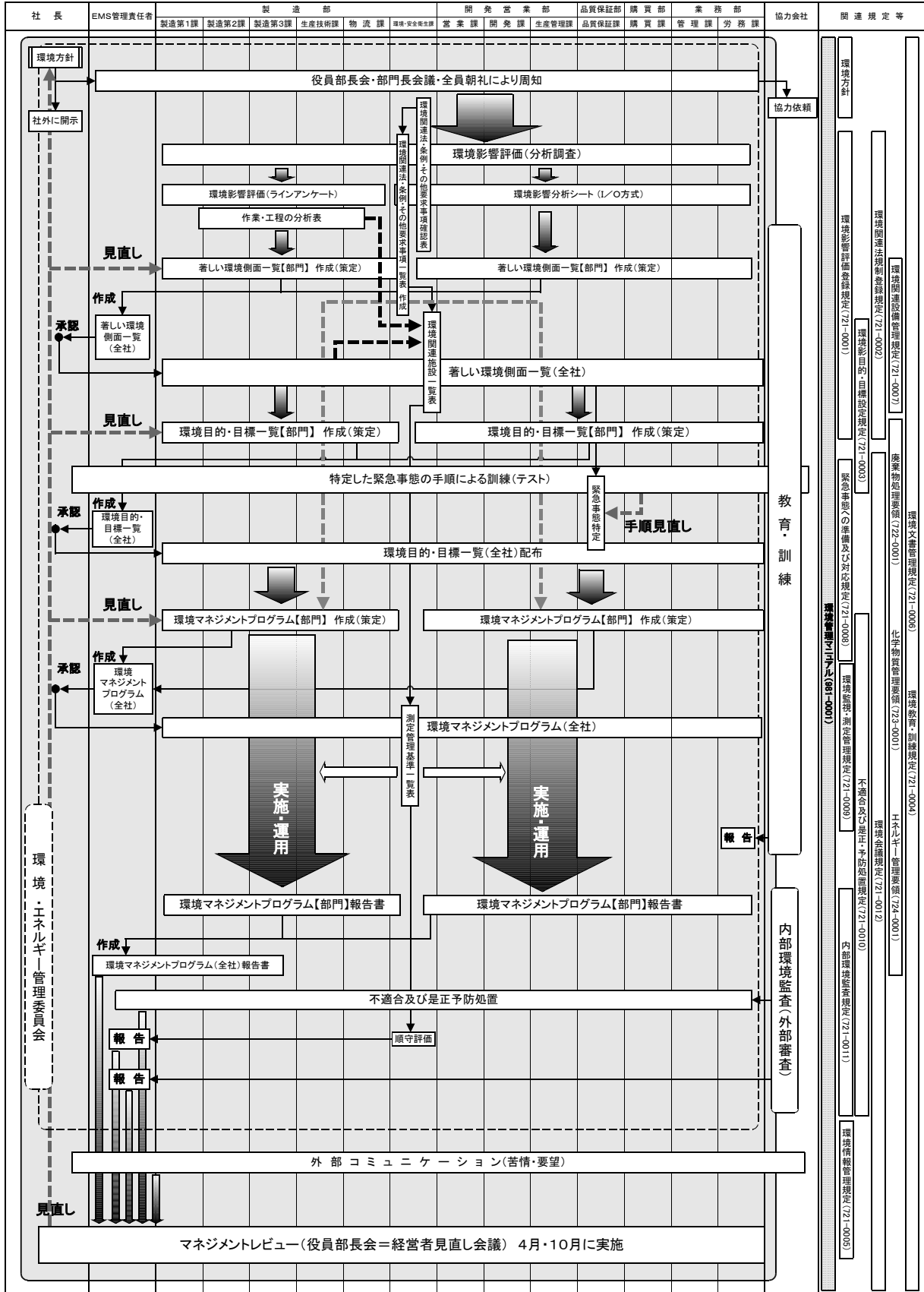
避難グループ毎に安否状況を確認



安否状況を対策本部に報告

クボタ精機 EMSプロセスフロー

981-0001 付表-4(第4版)





クボタ精機株式会社

〒587-0042

大阪府堺市美原区木材通4丁目15番4号

製造部 環境・安全衛生課

2010年8月 発行